The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学アーカイブズニューズレター　第6号
Author(s)	
Citation	大阪大学アーカイブズニューズレター. 2015, 6, p. 1-16
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/53875
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ISSN 2187-7270

大阪大学
アーカイブズニューズレター

OSAKA UNIVERSITY ARCHIVES

第6号　2015.09.30

目次：

上八に創設された大阪外国語学校	1
筑波大学アーカイブズ設置の準備と課題	2
大学の文書管理を再考する	4
受贈刊行物	6
業務日誌（抄）	14
大阪大学アーカイブズ兼任教員一覧	15
利用案内等	16

上八に創設された大阪外国語学校

大阪大学外国語学部の前身にあたる大阪外国語学校は、1921（大正10）年に林蝶子氏からの寄附金100万円をもとに大阪市東区上本町八丁目（当時）に創設されました。写真は昭和初年頃の大阪外国語学校です。この校舎は、1945（昭和20）年の空襲で書庫（テニスコート奥）を除き大部分が焼失しました。その後、同地で校舎を再建しましたが、1979年には箕面市の粟生間谷に移転しました。本年６月には、粟生間谷のキャンパスを北大阪急行線延伸に伴い整備される「（仮称）箕面船場駅」東隣に移転することについて、箕面市と覚書を交わしました。写真出典：『大阪外国語大学70年史・資料集』（大阪外国語大学同窓会、1989年）

（菅　真城）

筑波大学アーカイブズ設置の準備と課題

筑波大学アーカイブズ設置準備室　助教　田中友香理

１　はじめに

去る６月、国立大学の人文・社会科学系学部（教員養成系、法科大学院を含む）が、文部科学省から「組織の廃止」や「社会的要請の高い分野への転換」を含めた改革を求められ、３ヶ月が経とうとしている。すでに来年度へ向けて文系組織の縮小や再編を計画している国立大学もあると聞く。このような逆風のなかにあって私が所属する筑波大学では、大学アーカイブズの設置を準備中である。残念ながら、社会の要求に応じた成果と利益を即座に生み出すというイメージは、アーカイブズにはないであろう。そのようななかにあって、本学におけるアーカイブズ設置がどのような経緯で進められ、いかなる課題に直面しているのかを報告することで、今後の大学アーカイブズのあり方を考える一事例を示しておきたい。

２　これまでの経過

筑波大学アーカイブズ設置へ向けた準備は、以下のような経緯で進められてきた。

平成22年（2010）５月に「「筑波大学アーカイブズ」設立構想（案）」が人文社会系の中野目徹教授から執行部に提出され、これを受けて同年11月に「公文書等の管理に関する法律施行に伴う本学の対応」を議題に打合せが開催され、将来的にアーカイブズを設置するという合意が得られた。

そして、23年３月に総務・人事担当副学長を委員長とする筑波大学アーカイブズ設置検討委員会を設置し（同年法人規則第36号）、併せて国立大学法人筑波大学法人文書管理規程を一部改正した（同年法人規程第38号）。翌24年４月には、同委員会の下に専門委員会を設置し、より具体的なアーカイブズ設置の理念、制度設計について調査、検討を重ねた。ちなみに筆者も同委員会・専門委員会のオブザーバーとして大学アーカイブズにおけるアーキビストのあり方等について調査、報告をした。

同年10月、専門委員会での調査結果を踏まえて、専門委員会委員長（中野目教授）から「筑波大学アーカイブズの設置に向けた調査・検討結果について（答申）」が委員会に提出された。審議の結果、専門委員会答申は委員会答申となり、同年11月の学長・副学長懇談会、運営協議会に提出され、了承された。

このときの答申では、アーカイブズの設置形態として、①本部におかれる学長直轄の室、②附属図書館などと並ぶ一部局のいずれかが想定され、組織の長の下に研究部門と事務部門（総務部総務課担当）を置くことが必要とされた。答申起草段階では③センターとして設置する案もあったが、筑波大学の場合既存のセンターが主として教育研究機能を担うものであること、さらに学内の者を主な利用者としており、学外に開かれているとは言い難い性格であることから退けられた。また、法人文書の引継ぎについて、総括文書管理者である総務担当副学長から法人文書を引継ぐこと、実質的には各文書管理者（課長、室長、エリア支援室長等）から引継ぎを受けることになるだろうという予測が示された。

こうして、25年２月には、学副懇、運営会議、役員会で筑波大学アーカイブズ設置準備室設置規程（同年法人規程第９号）が承認され、準備室は平成16年法人規則第１号の第35条に定める「特別な組織」として設置された。準備室では法人文書等を「受託」するとともに、文書廃棄に「合意」を与える役割が規定された。翌３月、正式にアーカイブズ設置準備室（本部棟４階総務部フロア内）が発足した。これと同時に国立大学法人筑波大学法人文書管理規程の一部を改正する法人規程を制定し（同年法人規程第10号）、その附則第４項で準備室による廃棄「合意」は１年保存文書と明記された。

準備室の室長として中野目教授が、室員として学内の人文社会系、人間系、システム情報系、図書館情報メディア系等の教員のほか、附属図書館や広報室、総務部総務課の職員も委嘱されており、以後月１回ペースで室員会議を開催し、28年４月のアーカイブズ設置へ向けて具体的な調査を行うとともに、様々な議論を交わして今日に至っている。

本年４月に準備室は、学内の総合研究棟B11階

のスペースに移転、専任助教１名（昨年４月シニアスタッフ１名を配置）を採用し、開設準備を本格化したところである。来年度から始まる第三期中期計画にも大学アーカイブズの設置が掲げられることになった。

３　設置へ向けた課題

最後に、大学アーカイブズ設置に向けた課題を２点に分けて述べておきたい。

第一に、法人文書の移管についてだが、平成26年末に行った実態調査では、大学全体で書架延長10ｋｍ相当の法人文書が存在していることがわかった。その内、20％が作成から10年以上経過、10％が30年以上経過している文書である。準備室設置以来、総務部総務課、同法務課等の文書を「受託」したが、現在検討中の移管基準と移管の仕組みによっては、アーカイブズにさらに厖大な文書が移管される可能性がある。全学的な耐震工事を実施中の筑波大学では、保存スペースを確保することが課題の１つとなっている。

しかし、実際にアーカイブズを運用している他大学では、むしろ原局の理解が得られず、移管が困難であった例もあると聞く。設置後には、現用文書の管理との接続を円滑にする必要があり、文書管理者が100名を超える筑波大学において、いかにしてそれを計画的に行うか悩ましいところである。幸い、文書管理を所管する総務課と密接な協力体制を築いているので、総務課のサポートを得た上で現場の担当者に粘り強く訴えていきたいと考えている。

第二に、筑波大学50年史編纂との関係である。筑波大学は平成35年（2023）に創立50周年を迎えることになっている。これまで開学〇〇年といった節目に正式な年史は残念ながら刊行されていない。そのため、他大学における年史編纂委員会所蔵史料のような、大学の歴史を証明する史料群が形成されておらず、50年史を編纂するにあたって新たに資料を収集、整理、保存しなければならない。現在、準備室では学内の各部局における資料の所在を調査するとともに、教職員個人や研究室からの資料の「受託」を積極的に行い、さらに教職員OBに対するオーラルヒストリーも実施している。このような大学の歴史を証明する体系的な史料群の形成は、筑波大学開学以来初めてのことである。前身校時代を含めると140年以上の歴史があり、開学の経緯を考えると決して一筋縄ではいかない筑波大学の年史編纂事業をアーカイブズが中心となって推進していく場合、年史編纂事業といかなる関係性を構築できるかも大きな課題の一つである。

目録作成作業中の準備室の様子

４　おわりに

以上のように、筑波大学アーカイブズは準備室の段階であり、京都大学、大阪大学、東京大学といった国立大学がすでにアーカイブズを設置している現在、結局ＲＵ11の「殿軍」を務めることとなってしまったが、その立場を活かして、他大学の例に学びつつ理想的なアーカイブズを設置したいと考えている。

筑波大学においてアーカイブズはどのような存在としてあるべきか。筑波大学は昭和48年（1973）に「新構想大学」として開学し、開学40年を迎え「IMAGINE THE FUTURE」が大学のキャッチフレーズとして採用され、「未来志向」と「国際化」が大学の目指すべきところとされ、今に至る。本稿冒頭に述べた大学に求められはじめた厳しい成果主義に加え、グローバル化をも積極的に推進するというのである。そのような激流のさなかで、筑波大学アーカイブズは大学の個性と固有性を保存し、それを学内外に発信する基地のような存在とすべきではないかと考えている。「大学のアイデンティティの拠り所としての大学アーカイブズ」という像は、すでに提示されているが（菅真城『大学アーカイブズの世界』、大阪大学出版会、2013年、31頁）、年史も博物館も持たない筑波大学ではまさにそのようなアーカイブズが必要だと思われる。それに加え、日々の大学運営や教育研究に資することで、大学の真の「ブランド力」を高め、開学50周年に向けて「新構想大学」から「ヴィンテージ感」ある大学へと脱皮成長する一助となるのではないかと考えている。

大学の文書管理を再考する

駿河台大学文化情報学研究所　特別研究員　石井幸雄

はじめに

平成23年４月に施行された公文書管理法の５年見直しに向けての議論が深まっている。

昨年来、文書管理関連機関の代表が集い、公文書管理法、施行令、ガイドライン等に関する課題の検討を重ね、７月19日、12項目を共同提言書としてまとめた。そして、８月21日、代表者が内閣府大臣官房公文書管理課長に預け渡しを済ませたところである。

ただし、各機関の主張や優先順位など微妙な相違点もあり、共同提言の表現は調整が難しかった。提言に際し、筆者も一部執筆したが、最終的には原形をとどめないものとなった。提言の趣旨は公文書管理法５年見直しであり、文書管理の専門家の知見を、法的側面からアプローチした結果なのであろう。

しかし、イェリネックが「法は道徳の最小限」と述べたように、法律だけで公文書管理を語るのはあまりにも一面的である。文書管理は手段であって目的ではない。守るだけではなく、攻めの文書管理があってよい。

本稿では、ここ数年、共同で研究を進めてきた大学の事務組織における文書管理について、攻めと守りの両面から再考する。

なお、本稿においては、情報を記録した媒体を文書、文書の発生から処分（廃棄または移管）に至るライフサイクル扱う仕事を文書事務、そして、文書事務を適正かつ組織的･機能的に管理することを「文書管理」ということにする。

１．大学を取り巻く環境の変化と対応

多くの大学が改革を加速させている。社会からの要請、18歳人口の減少、法令改正など外部環境の変化に的確に対応することは、大学が生き残る上で不可欠だからと推察する。

大学改革は、あくまでも自律的に運営し変革するという観点から、自己点検･評価と第三者評価が基本となっている。大学が第三者評価を継続的に受けるために、平成16年度から認証評価制度が導入され、７年に１回、認証評価機関による受審が義務付けられた。従って、平成23年３月で一巡したことになるが、各大学においては、自己点検・評価などのマネジメントサイクルが機能し、内部質保証体制が確立したのだろうか。

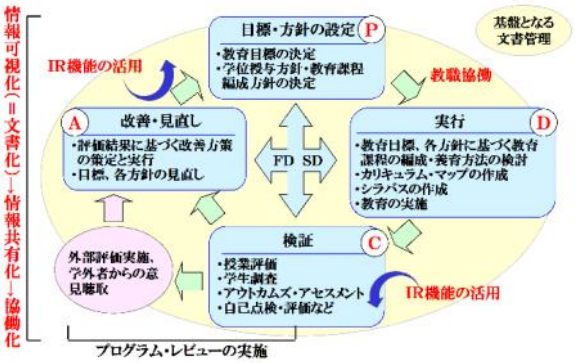

図１．内部質保証の概念図

出典：工藤潤、「大学基準協会の新評価システム：第一期の振り返りと第二期の課題」、『リクルート カレッジマネジメント172/Jan・Feb』、リクルート進学総研、2012. p17　より引用し一部加筆した

その後、学校教育法施行規則等の改正により、平成23年４月より大学の教育情報の公表が義務付けられた。この省令改正の狙いは二つあると思われる。一つは、大学が社会的機関として最低限の責任を果たすことであり、もう一つは、大学が、情報の公表を通して教育力向上や改革に役立てることである。

２．国立大学の文書管理

大学における文書管理は、その設置者による差異が大きいものと推察できるが、本稿においては国立大学について述べる。

国立大学の文書管理規程等は、公文書管理法に対応する実務を示した「行政文書の管理に関するガイドライン」に沿って制定されており、規定数及び内容の粒度に大差はない。

このガイドラインは第１（総則）から第10（補則）までの各セグメントで規定例を示し、留意事項として当該規定の趣旨・意義や職員が文書管理を行う際の実務上の留意点を記している。

平成23年12月15日の関係省庁連絡会議において配付された「文書管理自己点検チェックリス

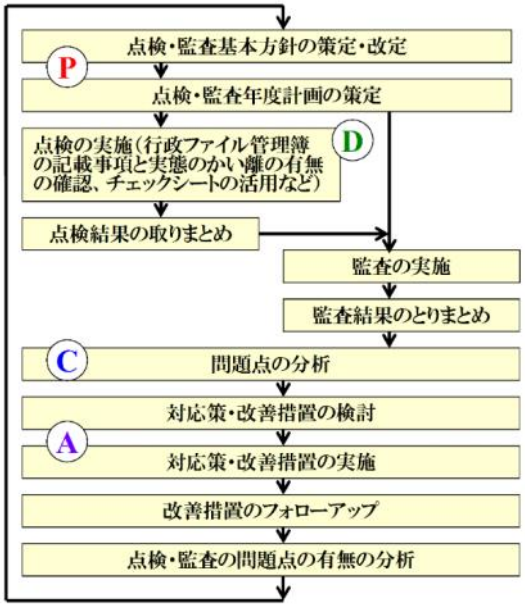

図２．自己点検チェックシート活用のフロー

出典：内閣府大臣官房公文書管理課『公文書管理法関係資料集』2013.p411より引用し一部加筆

ト」が活用されている。

本チェックシートは、「作成」「保存」「行政文書ファイル管理簿」「移管、廃棄又は保存期間の延長」「点検・監査及び管理状況の報告等」「その他」から構成されており、総括文書管理者、文書管理者、一般職員の三者間の回答に乖離が生じていないかを確認することを通じて、問題の発見に資することを狙いとしている。

３．守りの文書管理

文書の取り扱いに関する法律は多岐にわたっており、国立大学においてもきめ細かい対応が求められている。

公文書管理法、個人情報保護法、情報公開法、不正アクセス禁止法、知的財産権法、著作権法等関係法令の遵守はもとより、社会的信用を確保するための情報セキュリティ、事業継続マネジメントに関する情報管理の適正化など、大学の社会的責任が強く求められている。

文書の未作成、漏洩、紛失、改ざん、誤廃棄、隠蔽など文書のライフサイクルを扱う文書事務が適正かつ組織的・機能的に管理されないと社会からの信用を失うことになり、説明責任を強く求められている国立大学が大きなダメージを受けることは避けられない。

従って、組織を守る文書管理の必然性は明らかである。

４．攻めの文書管理

情報は、ヒト・モノ・カネに次ぐ第４の経営資源だといわれている。問題は、大学があるべき姿を実現するために、どのような戦略をたて、経営資源をどう集め、管理、活用していくのかということに他ならない。

マイクロソフト社のビル・ゲイツ氏は著書『思考スピードの経営』で、「情報をいかに収集・管理・活用するか、あなたが勝つか負けるかはそれで決まる」と述べている。

つまり、情報は生き残るための最大の武器だということである。そのためには、必要な情報を、必要な人が、いつでも、何度でも使えるように、組織として適正かつ効率的に整理整頓（組織化、構造化）しておくことである。

文書は、大学が最適な意思決定をするために必要不可欠な判断材料である。いかなる大学もミッション・ビジョンを掲げ、それらを達成するための戦略（中・長期計画）を策定し、さらに、方針へとブレークダウンする。そのマネジメントサイクル（PDCA）においては、文書を組織的・効率的に管理し、部門間、職種間を超えて共有することが目標を達成する上で有効と考えられる。

従って、大学経営の課題解決に向け、攻めの文書管理の重要性を忘れてはならない。

５．文書管理は大学経営体制の基盤

大学における文書管理の効用は次のように系統づけられる。まず、文書管理が適正化されることにより、コンプライアンス、説明責任、リスク対応等、大学が社会的責任を果たす基盤が確立される。

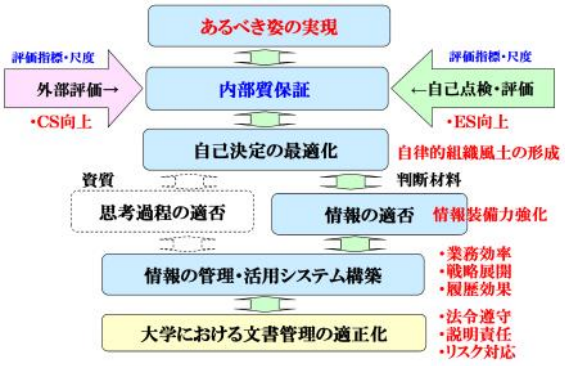

図３．文書管理と効果の連鎖（筆者作成）

次に、個々の組織において、情報のライフサイクル管理の仕組み（システム）が構築されること

により、事務の効率化が支援される。

更に、各組織の情報が統合されることにより、組織全体としての情報整備力が強化される。課題認識が共有され、部門や職種を超えた協働がうまれる。こうした自律的な組織風土においてこそ最適な意思決定が支援されるのである。

自律性の確保は、外部評価（認証評価）と内部評価（自己評価）の両面から、大学の内部質保証と向上を育むものであり、最適な意思決定により強固な組織運営体制が構築される。

従って、文書管理は大学運営体制の基盤と位置づけられる。組織を守るだけではなく、組織の維持発展に資する攻めの文書管理があってよい。こうしたことから大学の文書管理を再考する意義があるのではないだろうか。

おわりに

共同研究に際しては、文書管理が適正に行われているかどうかを確認する上で必要な項目を準備し、大学の事務職員各位へのヒアリング調査を行った。多大なご協力をいただき感謝している。

これらの質問をとおして、文書管理の根本問題といわれている「私物化意識」や「私物化容認意識」を概観した。また、文書管理が、「事務の効率化」につながっているのかどうか、更には、「意思決定」の判断材料として活かされているのかどうかを省察した。

その結果、次の３つの課題が抽出された。

第１に、個人の机の周辺に文書があふれている。仕掛文書の個人所有など情報の共有を阻害する私物化意識・私物化容認意識の排除が必要である。

第２に、自分が担当の文書は探せるが、他者の担当文書の検索には多くの時間を要する。場合によっては探せない場合もある。事務の適正化、効率化を支援するためには情報のライフサイクル管理、特に、必要な人がいつでも検索できる分類技術が必要である。

そして、第３に、情報の共有が部門のストックにとどまり、部門間のフローとして活かされていない。意思決定の最適化のためには全学ベースでの情報の組織化、体系化による自律的な組織風土の醸成が必要である。

さて、貴学の場合はいかがであろうか。

受贈刊行物　（2015年3月～2015年8月）

追手門学院大学
OTEMON ECONOMIC STUDIES vol.47、追手門学院大学心理学部紀要　第9号、追手門学院大学創立50周年記念講演会　第3回　自校教育の展開　講演録、追手門経営論集　第20巻第2号・第21巻第1号、追手門経済・経営研究　第22号、追手門経済論集　第49巻第2号

大阪女学院教育研究センター
大阪女学院教育研究センターNewsletter　第7号

大阪市立大学大学史資料室
大学史資料室ニュース　第19号、恒藤記念室叢書5　大阪市立大学恒藤記念室所蔵資料目録(増補改訂版)

学習院アーカイブズ
学習院アーカイブズニューズレター　第5・6号

学習院大学大学院人文科学研究科 アーカイブズ学専攻
GCAS Report　学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究　第4号、記録を守り記憶を伝える(パンフレット・リーフレット)、平成27年入試説明会－専攻紹介・受験案内・個人相談　学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻(チラシ)

神奈川大学資料編纂室
神奈川大学会議録(十六)　神奈川大学史資料集　第三十一集

金沢大学資料館
金沢大学資料館紀要　第10号、金沢大学資料館だより Vol.45～47、平成二十六年度金沢大学資料館特別展 超然～第四高等学校の校風と学生たち～(パンフレット)

関西大学年史編纂室
平成27年度関西大学年史資料展示室企画展　さようなら天六学舎－85年の歴史展－(パンフレット・ポスター・チラシ)、関西大学年史紀要　第24号

関西学院学院史編纂室
関西学院学院史紀要　第二十一号

関東学院学院史資料室
関東学院学院史資料室ニューズ・レター　No.18

九州大学大学文書館
九州大学大学史料叢書　第21輯、九州大学大学文書館ニュース　第38号

京都産業大学
京都産業大学キャンパスマガジンサギタリウス　vol.67・68

京都大学大学文書館
京都大学大学文書館企画展　「あの一年」の京都大学－大学文書館所蔵資料でみる1945年－(チラシ)、京都大学大学文書館研究紀要　第13号、京都大学大学文書館だより　第28号

近畿大学建学史料室
A Way of Life－Seko Koichi－　世耕弘一先生建学史料室広報　19号

慶應義塾福澤研究センター
近代日本研究　第31巻、慶応義塾福沢研究センター通信　第22号

皇學館大学研究開発推進センター
皇學館大学研究開発推進センター　第1号、皇學館大学研究開発推進センター(リーフレット)

神戸国際大学
経済文化研究所年報　第24号、神戸国際大学紀要　第88号、神戸国際大学経済経営論集　第35巻第1号

神戸女学院史料室
学院史料　Vol.28、學報　NO.173・174

國學院大學研究開発推進機構
校史・学術資産研究センター
校史　Vol.25、國學院大學校史・学術資産研究　第七号

国士舘国士舘百年史編纂委員会
国士舘百年史　史料編上・下

国士舘史資料室
国士舘史研究年報楓原　第6号

淑徳大学アーカイブズ
淑徳大学創立50周年・学祖長谷川良信先生50回忌記念　淑徳大学50年のあゆみ展(チラシ)

成城学園教育研究所
成城学園教育研究所研究年報　第三十六集(CD－R)、成城教育　第167・168号

西南学院
西南学院史紀要　第10号

専修大学大学史資料課
専修大学史紀要　第7号

創価大学創価教育研究所
創価教育　第8号

大東文化歴史資料館
大東文化歴史資料館だより　第18号

拓殖大学創立百年史編纂室
拓殖大学百年史　資料編八、拓殖大学百年史　終戦七十年記念出版　やがてまた別れ告ぐべき君なれば　戦争と学徒

玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館紀要　第12号

多摩美術大学
多摩美術研究　第4号　2015年、多摩美術大学研究紀要　第29号

中央大学入学センター事務部大学史編纂課
中央大学史資料集　正誤表(第1～26集)、中央大学史資料集　第二十七集

東京学芸大学教育研究支援部大学史資料室事務室
東京学芸大学大学史資料室報　vol.2

東京大学文書館
東京大学史紀要　第33号、東京大学文書館ニュース　第54号

同志社大学同志社社史資料センター
同志社大学同志社社史資料センター報　第11号、同志社談叢　第35号、新島研究　第106号、ハリス理化学館同志社ギャラリー第7回企画展　はじまりの地－ラットランドから寺町丸田町、今出川へ－ (ポスター・チラシ)

東邦大学　額田記念東邦大学資料室
東邦大学創立90周年記念展示　額田豊・晉の生涯　東邦大学のルーツをたどる(小冊子・チラシ)、額田豊・晉の生涯　東邦大学のルーツをたどる

東北大学史料館
東北大学史料館紀要　第10号、東北大学史料館だより No.22

東洋英和女学院
史料室だより　No.84、楓園　No.77

獨協学園獨協学園史資料センター
獨協学園資料センター研究年報　第7号

長崎大学
広報誌CHOHO　Vol.51・52・特別版、長崎大学リレー講座2015　いま求められる地方の力(ハガキ)

名古屋大学大学文書館資料室
名古屋大学大学資料室ニュース　第32号、名古屋大学大学文書資料室紀要　第23号

南山学園史料室
南山アーカイブズニュース　第7号、南山学園史料集10 ヒルシュマイヤー著作集　教育論

南山大学史料室
アルケイアー記録・情報・歴史ー　第9号

日本女子大学成瀬記念館
成瀬記念館　2015　No.30

日本大学広報部大学史編纂課
大学史論輯　黌誌　第10号、日本大学大学史編纂課だより　第8号

梅花女子大学図書館
梅花女子大学文化表現学部紀要　11　心理こども学部紀要　5

広島大学高等教育研究開発センター
HIGHER　EDUCATION　FORUM　Volume12,March 2015、RIHE International Seminar Report　No.22、高等教育研究叢書129　大学教育の組織的実践ー小学校教員養成を事例にー、高等教育研究叢書130　高等教育とグローバル化～グローバル人材養成の課題・可能性～ー第42回(2014年度)研究員集会の記録ー、戦略的研究プロジェクトシリーズⅨ　大学の機能別分化の現状と課題、大学論集　第47集(2014年度)、広島大学高等教育研究開発センター　コリーグ　48号

広島大学文書館
企画展　原爆白書運動と広島大学(ポスター)、広島大学文書館紀要　第17号、広島大学文書館蔵　大牟田稔関係文書目録　個別編、広島大学文書館蔵　小野増平関係文書目録、平成26年度広島大学公文書管理研修報告書

法政大学史委員会
JR市ヶ谷駅開業120周年記念　市ヶ谷駅と法政大学ー法政大学史センター所蔵卒業アルバムを中心にー(パンフレット)、法政大学史資料集　第36集、法政大学清国留学生法政速成科設置110周年記念パネル展(ポスター・チラシ)

北海道大学大学文書館
北海道大学大学文書館年報　第10号

明星大学
記念事業の記録　創立五十周年記念誌第3分冊

武蔵学園記念室
武蔵学園史年報　第19号

明治学院歴史資料館
明治学院歴史資料館資料集　第10集①バラ学校を支えた二人の女性ーミセス・バラとミス・マーシュの書簡ー、明治学院歴史資料館ニュースレター　No.6

桃山学院史料室
和泉中央と桃山学院大学の20年　1995－2015　甦る大正浪漫オルガンコンサート(チラシ)、和泉中央と桃山学院大学の20年　1995－2015(チラシ)、第二次世界大戦終結70年・日露戦争終結110年記念企画展・講演会 戦争が残したものもたらしたもの(チラシ)、桃山学院史料室の10周年展(チラシ)、桃山学院年史紀要　第34号、桃山学院の歴史　2015

立教学院史資料センター
立教学院史研究　第12号

立教学院展示館
戦後池袋　ヤミ市から自由文化都市へ　戦後70年企画(チラシ)、冨安敬二作品展ー具象から抽象へ、そしてまた回帰としての現在ー(チラシ)、立教学院展示館　第1回企画展「戦時下、立教の日々ー変わりゆく『自由の学府』の中でー」(ポスター・チラシ)

立正大学史料編纂室
立正大学史料編纂室の栞　第1号、第2回　立正大学史料編纂室主催講習会(チラシ)

麗澤大学
年報　麗澤スタディーズ　2014

早稲田大学大学史資料センター
2015年度春季企画展「戦後七〇年　学徒たちの戦場」(ポスター・チラシ)

あおぞら財団
ECOMUSE 資料館だより　№52

旧制高等学校記念館
記念館だより　第65・66号、生誕150周年記念特別展「澤柳政太郎とその時代」・記念展「教育博物館50年の歩み」(ポスター・チラシ)

国文学研究資料館
国文研ニューズ　No.39、書物で見る日本古典文学史(チラシ)、史料目録第100集　尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録(その5・完)、史料目録第101集　信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その8)、平成27年度　アーカイブズ・カレッジ史料管理学研修会(パンフレット)

国文学研究資料館　古典籍共同研究事業センター
可能性としての日本古典籍(チラシ)、公開シンポジウム日本語の歴史的典籍データベースが切り拓く研究の未来(チラシ)、古典籍共同研究事業センターニューズふみ　第3・4号、第一回日本漢文学総合討論(チラシ)

全国大学史資料協議会東日本部会
第2回全国大学史展　学生たちの戦前・戦中・戦後、大学アーカイヴズ　No.52

全国大学史資料協議会西日本部会
全国大学史資料協議会西日本部会会報　第31号

野間教育研究所
野間教育研究所紀要　第55集　絵本に関する実証的研究ー『新・講談社の絵本』を中心としてー、野間教育研究所紀要　第57集　学校沿革史の研究　高等学校編2

わだつみのこえ記念館
わだつみのこえ記念館　記念館だより　No.9

秋田県公文書館
秋田県公文書館研究紀要　第21号、秋田県公文書館だより　第30号、広報誌「古文書倶楽部」第64号

天草市立天草アーカイブズ
平成26年度　天草市立天草アーカイブズ年報　第12号

岡山県立記録資料館
岡山県記録資料叢書10　岡山県明治前期資料　一(明治九・十年)、岡山県立記録資料館紀要　第10号、岡山のアーカイブズ　4～記録資料館活動成果資料集～

沖縄県公文書館
沖縄県公文書館研究紀要　第17号、沖縄県公文書館だより　ARCHIVES　第48・49号

香川県立文書館
香川県立文書館企画展　風水害のアーカイブズ(チラシ)、平成27年度企画展　変わりゆく香川ー写真のアーカイブズー(チラシ)、香川県立文書館　収蔵文書目録第17集　那珂郡今津村横井家文書目録(3)、香川県立文書館紀要　第19号、香川県立文書館史料集3　丸亀京極家御連枝日記

神奈川県立公文書館
神奈川県立公文書館だより　第32号、平成26年度　神奈川県立公文書館年報

京都府立総合資料館
資料館紀要　第43号、総合資料館だより　No.183・184

宮内庁書陵部
皇室がふれた千葉×千葉がふれた皇室(ポスター・チラシ)、昭和天皇実録　第一　自　明治三十四年　至　大正二年、昭和天皇実録　第二　自　大正三年　至　大正九年、書陵部紀要　第66号・〔陵墓編〕

国立公文書館
アーカイブズ　第55号、国際公文書館会議東アジア地域支部(EASTICA)第12回総会及びセミナー「デジタル時代のアーカイブ　再び」(チラシ)、国立公文書館ニュース　vol.1・2、平成26年度アーカイブズ研修Ⅲ修了研究論文集、平成27年秋の特別展　災害に学ぶ明治から現代へ(ポスター・チラシ)

埼玉県立文書館
埼玉県史料叢書　17　埼玉県布達集　一、埼玉県立文書館収蔵文書目録　第54集　諸家文書目録Ⅷ、文書館紀要　第28号

相模原市立公文書館
公文書館年報(平成26年度の運用状況報告)

札幌市総務局行政部公文書館
札幌市公文書館年報　第2号　平成26年度

寒川文書館
寒川文書館だより　Vol.17、寒川町史研究　第27号

太宰府市公文書館
太宰府市公文書館紀要　第9号、太宰府市公文書館報　平成26年度　太宰府市公文書館開館記念誌

東京都公文書館
東京都公文書館だより　第26号

栃木県立文書館
栃木県史料所在目録　第44集CD版、栃木県立文書館研究紀要　第19号、文書館だより　第57号

長野県信濃美術館
ドラッカー・コレクション　珠玉の水墨画　「マネジメントの父」が愛した日本の美(チラシ・招待券)、東山魁夷館25周年記念　日展三山　東山魁夷、杉山寧、高山辰雄(チラシ・招待券)、没後50年“日本のルソー”　横井弘三の世界展(チラシ・招待券)

長野県立歴史館
長野県の遺跡発掘　2015(ポスター・チラシ・招待券)、長野県立歴史館研究紀要　第21号、長野県立歴史館収蔵文書目録　14、長野県立歴史館たより　vol.83、平成27年度長野県立歴史館　戦後70年企画「長野県民の1945」(ポスター・チラシ・招待券)

長野市公文書館
市誌研究ながの　第22号

八王子市市史編さん室
新八王子市史　通史編1　原始・古代、新八王子市史近現代統計資料集　数字が語る八王子の現代、新八王子市史民俗調査報告書　第3集　八王子市西南部地域浅川の民俗、新八王子市史民俗調査報告書　第4集　八王子市北部地域　加住の民俗

広島県立文書館
広島県立文書館だより　No.39

福井県文書館
福井県文書館研究紀要　第12号、福井県文書館資料叢書11　福井藩士履歴3　け～そ

福岡共同公文書館
福岡共同公文書館だより　vol.06、平成27年度第1回企画展　百道松風園～終戦と子どもたち～(ポスター・チラシ)

福岡市総合図書館
福岡市総合図書館研究紀要　第15号、平成26年度　古文書資料目録　20

福島県文化振興財団
ふくしまDC協賛展示　平成27年度福島県歴史資料館収蔵資料展　花と温泉－かおりと湯けむりの記憶－(リーフレット)、福島県史料情報　第41・42号、福島県歴史資料館収蔵史料目録　第46集

北海道立文書館
赤れんが　北海道立文書館報　No.50、北海道立文書館調査研究事業報告書　第3号

松本市文書館
松本市史研究　松本市文書館紀要　第25号

三豊市文書館
三豊市文書館春期企画展　三豊思い出写真帳　Vol.4(チラシ)、三豊市文書館だより　七宝　Vol.11～14

山口県文書館
文書館ニュース　No.49、山口県文書館研究紀要　第42号

和歌山県立文書館
古文書徹底解釈紀州の歴史　第二集、和歌山県立文書館紀要　第17号、和歌山県立文書館だより　第42・43号

大阪大学広報・社学連携オフィス
「パンキョー革命」「ひとこといちば」「ワニバス」　報告書(2010)、MEMOIRS OF THE Institute of Scientific and Industrial Research VOLUME69 2012 、大阪大学21世紀懐徳堂活動報告書　2010～2012、大阪大学サイバーメディア・フォーラム　№12・13・15、大阪大学サイバーメディアHPCジャーナル　No.1・2・4、大阪大学社会経済研究所活動報告　2010・2011、大阪大学大学教育実践センター　紀要　第7・8号、大阪大学蛋白質研究所研究レポート　平成21年度、大阪大学低温センターだよ

り №162、大阪大学ニューズレター 2011－2013 22世紀に輝く大阪大学を目指して、大阪大学ニューズレター 2013－2014 適塾から世界適塾へ、大阪大学ニューズレター 2014－2015 大阪大学第17代総長平野俊夫の4年間、大阪大学ニューズレター No.60・61・64～68、大阪大学レーザーエネルギー学研究センター創基四十周年記念公演会・祝賀会資料(箱)、学際融合教育シンポジウム報告書「自己の成り立ち」、言語文化研究 37、国立大学附置研究所・センター長会議第3部会(人文・社会科学系)シンポジウム 失われた20年を超えて 日本経済再生への途、サイバーメディアセンター年報 2010・2011・2013年度、東北大学多元物質科学研究所－大阪大学産業科学研究所 新産業創造物質基盤技術研究センター平成21年度研究成果報告書、阪大NOW №144・145、プロテオミクス総合研究センターだより №32、平成21・23年度 年次報告書－活動状況と課題－、平成22・24年度 学際交流学際融合教育セミナー実施報告書、平成22・24年度学際融合教育研究センター 活動報告書、平成22・24年度 学際融合教育シンポジウム実施報告書、平成23・25年度 アニュアルレポート、平成23年度 共同利用実験室・共同利用実験装置 研究成果報告書、平成25年度 共同利用研究成果報告書、民族紛争の背景に関する地政学的研究 Vol.16～20

大阪大学総務企画部

IRプロジェクト 阪大生の学びの実態調査(ポスター)

大阪大学研究推進部学術研究推進係

科研費NEWS(2014.Vol.4)、優れた研究成果を着実に産み出すために 研究不正の防止と責任ある研究活動の推進(リーフレット)

大阪大学教育推進部

平成28年度 大阪大学入学者選抜要項

大阪大学全学教育推進機構

「平成27年度全学共通教育科目 履修の手引き」別冊入学当初の履修の流れについて、Transdisciplinary Learning Guide(英文パンフレット)、学部高学年生と大学院生のための学際融合教育ガイド(パンフレット)、平成27年度 大阪大学 知のジムナスティックス(高度教養プログラム)－3年次以上の学部学生及び大学院学生対象－、平成27年度 大阪大学大学院副専攻プログラム大学院等高度副プログラム、平成27年度 授業時間割1・2年次(第Ⅰ・Ⅲセメスター)用、平成27年度全学共通教育科目 履修の手引き

大阪大学教育学習支援センター

2015年度大阪大学ファカルティ・ディベロップメントプログラムガイド 4月～9月、2015年度高度副プログラム大阪大学未来の大学教員養成プログラム 大学教員になりたい!!!!!(チラシ)、大阪大学教育学習支援センター コースデザインワークショップガイド(リーフレット)、講義自動収録配信システムEcho(リーフレット)

大阪大学21世紀懐徳堂

大阪大学×大阪ガス アカデミクッキング 意外と身近な漢方医学～漢方で、心も体もすっきりと！(チラシ)、大阪大学×大阪ガス アカデミクッキング 台所から世界を変える／食べる／考える 大英帝国プディングとローストビーフ(チラシ)、大阪大学×大阪ガス アカデミクッキング ホットドッグ学概論～羊腸に詰められた挽肉と文化(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂 ごあんない、大阪大学21世紀懐徳堂活動報告書 2014、大阪大学21世紀懐徳堂塾 OSAKANCafé⑥ 近世大坂が生んだ天才学者富永仲基 生誕300周年(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂だより vol.22 2015 3～6月号、大阪大学教職員の皆さま アウトリーチ活動のお手伝いをします!!(チラシ)、第13回 植物探検隊@春の待兼山を訪ねて(チラシ)、適塾記念会からのお知らせ／平成27年度適塾見学会(夏季)の参加者募集(チラシ)、日本医史学会主催市民公開講座(チラシ)

大阪大学適塾記念センター

大阪大学適塾記念センター所蔵 適塾関係資料目録

大阪大学安全衛生管理部

安全のための手引 2015

大阪大学附属図書館

Communication－design 2006、COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY 大阪大学大型計算機センター 1996(パンフレット)、Osaka University International studies Library Guide 2015.4(リーフレット)、Osaka University Library Main Library User's Guide 2015.4(リーフレット)、Osaka University Science and Engineering Library Student and Faculty Guide 2015.2(リーフレット)、World Wide Views in Japan NEWS LETTER 01～03、安全のための手引(体育科学)、大阪大学大型計算機センター 1986(パンフレット)、大阪大学大型計算機センター速報 No.45・60・62～71・74～76・77・79～83・87～100・105～129、大阪大学大型計算機センターニュース 1～12・14～88、大阪大学外国学図書館利用案内

2015.4(リーフレット)、大阪大学健康体育部要覧　1996・2001・2003、大阪大学サイバーメディアセンター　大規模計算機システム速報　No.5、大阪大学歯学部研究業績目録(1986－1990)、大阪大学情報処理教育センター広報　1－16、大阪大学超電導工学実験センター報告　第2巻、大阪大学図書館報　48巻2号、大阪大学ニューズレター　2011－2013　22世紀に輝く大阪大学を目指して、大阪大学ニューズレター　No.60・61、大阪大学附属図書館　理工学図書館利用案内2015.2.1[学内利用者用][卒業生・学外利用者用](リーフレット)、大阪大学附属図書館総合図書館利用案内2015.4(リーフレット)、カウンセリング研究－大阪大学学生相談室紀要－、学生相談室年報2007・2008、計算機利用ニュース　第3・6～8号、計算センター・ニュース　Vol.1 №1・Vol.2 №1・2、健康体育部保健センターだより　No.1～8、情報基盤委員会だより　VOL.001～003、体育指導センターニュース　No.6・10・12～20、阪大NOW　№44～63・93・95・103・109、阪大NOW・大阪大学学報(平成14・15年)目録、阪大ニューズレター　№1～50、阪大ニューズレター　対談集　1998－2005　「社会と大学、知の交流」、阪大法学部　NEWS　LETTER　第4～8号

大阪大学大学院文学研究科・文学部

劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業－<声なき声、いたるところにかかわりの声、そして私の声>芸術祭Ⅰ,Ⅱ－　2013－2014年度報告書、フィロカリア　第32号

大阪大学大学院文学研究科日本史研究室

「定年にあたって」短文集、研究余滴、拾芥雑録

大阪大学文学部日本学専修　北原ゼミ

2012～2014年度「阪大の女子大生」研究プロジェクト調査報告書

大阪大学医学部附属病院

Handai Hospital　阪大病院ニュース　第58号、I.C.T. Monthly no.217～223、I.C.T. Monthly　号外　2014.10・11、Nutrition News No.13・14、お～いNET　№140～144、支部ニュース　なにわ、第80回未来医療セミナー　センダイウイルスを用いた癌特性の解明と治療応用の発展(チラシ)、第81回未来医療セミナー　地球規模健康課題(グローバル・ヘルス)のアーキテクチャーと潮流(チラシ)、第82回未来医療セミナー　急性心筋梗塞に対する虚血心筋保護から再生医療まで(チラシ)、第83回未来医療セミナー　医療分野の新たな研究開発体制と日本医療研究開発機構に関する現状と展望(チラシ)、第84回未来医療セミナー　大規模ヒトゲノム解析が明らかにしたこと～疾病病態解明と新規創薬への挑戦～(チラシ)、第85回未来医療セミナー　死因究明が未来の医療を創る(チラシ)、阪大教職組ニュース　No.2～4

大阪大学歯学部附属歯科技工士学校

平成28年度　学生募集要項　大阪大学歯学部附属歯科技工士学校

大阪大学大学院工学研究科・工学部

INFORMATION　FOR　STUDENTS　FROM　OVERSEAS　外国人留学生のための大阪大学入学案内1990－91、OSAKA UNIVERSITY BULLETIN　1989－1990、大阪大学一覧　平成元年－2年度、大阪大学工学部創立二十五年誌　1929－1949、大阪大学国際交流会館、大阪大学国際交流会館　入居の手引、大阪大学大学院工学研究科・工学部　2015(リーフレット)、大阪大学大学院工学研究科・工学部　要覧2015、学生案内　平成2・3年度、核物理研究センター共同研究員宿泊施設利用のしおり、こんにちは－30か国語会話集－、昭和61・62年度　大学教育方法等改善経費　留学生の教育方法の改善に関する調査研究成果報告書、平成27年度(2015年度)　工学研究科履修案内(平成27年度入学者用)、平成27年度第1学期大学院前・後期課程用授業時間割(裏面第2学期)、平成2年度　大学院履修案内、平成2年度　履修要覧

大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部

21世紀の科学と技術のパイオニア　2015、OSAKA UNIVERSITY Graduate School of Engineering Science/School of Engineering Science 2015、大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部要覧2015、平成26年度基礎工学研究科・基礎工学部　学外者による評価と提言　新世紀科学と技術のパイオニアを目指して、平成27年度　大阪大学基礎工学部　学生便覧、平成27年度　授業時間割表　1年次生用前期、平成27年度　大学院学生便覧、平成27年度10月入学　大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程学生募集要項〔社会人特別選抜を含む〕、平成27年度大阪大学大学院基礎工学研究科　授業時間割表博士前期課程1・2年次、平成27年度授業時間割表　2・3・4年次生用　第1・2学期、平成28年度　大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程学生募集要項〔社会人特別選抜を含む〕、平成28年度　大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程学生募集要項〔社会人特別選抜〕〔学部3年次学生を対象とした募集を含む〕、平成28年度　大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程推薦入学特別選抜学生募集要項

大阪大学大学院言語文化研究科
大阪大学大学院言語文化研究科外部評価委員会報告書　2015年3月、言語文化共同研究プロジェクト2014「文化」の解読(15)－文化と翻訳－、言語文化共同研究プロジェクト2014　音声言語の研究9、言語文化共同研究プロジェクト2014　外国語教育の新しい局面(5)－Facets of Foreign Language Teaching Today－、言語文化共同研究プロジェクト2014　言語文化の比較と交流2、言語文化共同研究プロジェクト2014　これからの英語教育、言語文化共同研究プロジェクト2014　時空と認知の言語学Ⅳ、言語文化共同研究プロジェクト2014　自然言語への理論的アプローチ、言語文化共同研究プロジェクト2014　相互行為研究①－会話とナラティブを分析する－、言語文化共同研究プロジェクト2014　電子化言語資料分析研究2014－2015、言語文化共同研究プロジェクト2014　批判的社会言語学の軌跡、言語文化共同研究プロジェクト2014　表象と文化Ⅻ、言語文化共同研究プロジェクト2014　ポストコロニアル・フォーメーションズⅩ、言語文化共同研究プロジェクト2014　レトリックと英語の語彙、言語文化研究　41、言文だより　第32号－言語文化研究科2014－

大阪大学大学院国際公共政策研究科
国際公共政策研究　第19巻第2号(通巻第36号)

大阪大学大学院情報科学研究科
大阪大学大学院情報科学研究科　年報　第10号

大阪大学大学院高等司法研究科
Handai Law Letter　第5号、大阪大学大学院高等司法研究科　ニューズレター　№15、大阪大学大学院高等司法研究科　法科大学院　2015～2016(パンフレット)

大阪大学蛋白質研究所
Prospectus Institute for Protein Research Osaka University 2015、大阪大学蛋白質研究所　外部評価報告書　平成26年度実施、大阪大学蛋白質研究所　要覧2015、大阪大学蛋白質研究所レポート　平成25－26年度

大阪大学社会経済研究所
ISER　2015(パンフレット)、大阪大学社会経済研究所活動報告　2014、国立大学附置研究所・センター長会議第3部会(人文・社会科学系)シンポジウム　失われた20年を超えて　日本経済再生への途、小説の中の経済学(チラシ)

大阪大学接合科学研究所
6大学連携プロジェクトニュース　vol.4No.2、TRANSACTIONS OF JWRI　Vol.43No.2　2014、大阪大学接合科学研究所要覧　2015、大阪大学接合科学研究所スマートプロセス研究センター　ニュースレター　№25、大阪大学接合科学研究所スマートプロセス研究センター　要覧　2015、阪大接合研ニュースレター　№36、平成26年度連携プロジェクト　研究成果報告書、文部科学省　特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト　平成26年度研究成果報告書

大阪大学低温センター
大阪大学低温センターだより　№163

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター
大阪大学超高圧電子顕微鏡センター　平成26年度年報

大阪大学ラジオアイソトープ総合センター
RI　センターニュース　№28

大阪大学環境安全研究管理センター
大阪大学環境安全研究管理センター誌「保全科学」第21号、環境安全ニュース　№54

大阪大学国際教育交流センター
第8回　大阪大学専門日本語教育研究協議会　グローバル時代を生き抜く力の養成と大学における日本語教育を考える－大学から社会への橋渡しを視野に－報告書

大阪大学総合学術博物館
大阪大学総合学術博物館　第8回特別展　待兼山少年大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室(ポスター・チラシ)、大阪大学総合学術博物館夏期特集展覧会藍と薬のめぐりあい－和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂－(ポスター・チラシ)、大阪大学総合学術博物館叢書11漢方今昔物語生薬国産化のキーテクノロジー

大阪大学金融・保険教育研究センター
平成27年度10月入学　大阪大学金融・保険教育研究センター科目等履修生高度プログラム「金融・保険」【募集要項】

大阪大学グローバルコラボレーションセンター
2015年度　GLOCOL海外体験型教育プログラム説明会(チラシ)、FIELDO　ブラウンバッグランチ(BBL)セッション　海外渡航時の健康管理について(チラシ)、GLOCOLブックレット　09　新咸臨丸プロジェクト2011、

GLOCOLブックレット 10 中国における食品の安全・安心、GLOCOLブックレット 11 メコン GLOCOL海外フィールドスタディによる教育と研究の連携への試み、GLOCOLブックレット 12 現代文化を読み解くプラクティス、GLOCOLブックレット 13 海外体験型教育プログラム短期派遣手続きとリスク管理、GLOCOLブックレット 14 フィールドスタディで国際機関の活動を知る、GLOCOLブックレット 15 Current issues in dementia and dementia care in East Asia、GLOCOL ブックレット 16 モンゴルの食と生業の現在、GLOCOLブックレット 17「いたみ」「かなしみ」「他者」の現場 フィールドワークを問う、東ティモールについて語り合う フィールドスタディ報告会(チラシ)

大阪大学日本語日本文化教育センター
センター広報 第21号

大阪大学サイバーメディアセンター
大阪大学サイバーメディアHPCジャーナル No.5、大阪大学サイバーメディアセンター要覧 2015、サイバーメディアセンター年報 2014年度 №15

懐徳堂記念会
第129回懐徳堂春季講座 日欧の文化遺産(チラシ)

堀一成(大阪大学)
阪大生のためのアカデミック・ライティング入門

菅真城(大阪大学)
アーカイブ基礎資料集、大阪大学経済学 第64巻第4号・第65巻第1号、大阪大学経済学 第64巻第4号抜刷「中村宣一朗名誉教授に聞くー大阪大学の思い出ー」、大阪大学経済学 第65巻第1号抜刷「加藤四郎名誉教授に聞くー大阪大学の思い出ー」、大阪大学世界言語研究センター論集第4号抜刷「中岡省治名誉教授に聞くー大阪外国語大学の思い出ー(2)」、生産と技術 Vol.67No.2・3、資料室ニュース vol.55・57

美濃越進(大阪大学)
大阪大学蛋白質研究所50年の歩み 創設50周年記念誌、懐徳堂 ORIGINAL POSTCARD Set.4、懐徳堂絵はがきセット、懐徳堂アーカイブ 懐徳堂の歴史を読む、懐徳堂暦、大阪大学蛋白質研究所 同窓会名簿

業務日誌(抄) (2015年3月～2015年8月)

・**3月9日** 法人文書の管理に関する説明会を開催。

・**3月14日** 菅、東京出張。第2回公文書管理法5年見直しについての合同研究集会（学習院大学）に出席。

・**3月16日** 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2014年度第5回幹事会（関西学院大学）に出席。

・**3月18日** 広島大学文書館・村上淳子氏が視察。東京外国語大学文書館・倉方慶明氏が視察。

・**3月20日** 静岡大学・橋本誠一氏が視察。

・**3月27日** 大阪市公文書館から資料の受入について打診。

・**3月31日** 『大阪大学アーカイブズニューズレター』第5号を刊行。廣川和花適塾記念センター准教授が兼任教員を辞職。

・**4月1日** 大阪大学アーカイブズ特定歴史公文書等利用細則・大阪大学アーカイブズ歴史資料等利用内規を一部改正。

・**4月8日** 平成26年度移管特定歴史公文書等目録を公開。

・**4月13日** 全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」開講。菅、「概観」講義。

・**4月15日** 菅、東京出張。関東地区国立大学文書館情報交換会（東京大学）に出席。

・**4月16日** 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2015年度第1回幹事会（関西学院大学）に出席。

・**4月25～26日** 菅、東京出張。日本アーカイブズ学会2015年度大会（東京大学）に出席。

・**5月1日** 広報社学連携オフィス社学連携課社学連携第一係から大阪市顕彰史跡となった府立大阪医学校の開設パネルの内容をチェックするように依頼を受ける。松永和浩適塾記念センター准教授が兼任教員に就任。

・**5月7日** 学外から卒業生の留学先について照会。

・**5月8日** 菅、全国大学史資料協議会西日本部会25周年記念誌編集委員会（桃山学院）に出席。

・**5月14日** 総合学術博物館から眞島利行元総長のご遺族の連絡先について照会。

・**5月20日** 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2015年度総会・第1回研究会（常翔学園）に出席。

・5月22～23日　菅、丸亀出張。記録管理学会2015年研究大会（丸亀市民会館）に出席し、「公文書管理法の改正についての提言」研究発表。

・5月27日　学内から大阪薬学専門学校の資料について照会。

・6月2日　大阪大学POSTが共通教育「大阪大学の歴史」について取材。

・6月8～9日　飯塚室長、菅、東京出張。全国公文書館長会議等に出席。

・6月15日　菅、全学共通教育「大阪大学の歴史」で「大阪帝国大学の創設と理学部の新設」講義。

・6月17日　菅、東京出張。東京大学文書館柏分館を視察し、記録管理学会理事会に出席。

・6月18日　韓国延世大学校金大中図書館のアーキビスト5名が視察。

・6月22日　菅、全学共通教育「大阪大学の歴史」で「旧制高等学校から阪大共通教育へ－大阪高等学校、浪速高等学校－」講義。

・6月30日　総務企画部総務課文書管理室美濃越進室長代行が退職。

・7月9日　同志社大学同志社社史資料センターから総合学術博物館について照会。

・7月15日　医学部附属病院看護部、大阪大学看護同窓会から資料受贈。

・7月19～21日　菅、東京出張。第3回公文書管理法5年見直しについての合同研究集会（学習院大学）に出席。全国大学史資料協議会東日本部会主催第2回全国大学史展「学生たちの戦前・戦中・戦後」（明治大学）を視察。第2回関東地区国立大学文書館情報交換会（東京工業大学）に出席し、「公文書管理法5年見直しについて－他団体の取り組み報告－」報告。

・7月22日　菅、和歌山出張。全国大学史資料協議会西日本部会2015年度第2回研究会（和歌山大学）に出席。

・7月27日　菅、全学共通教育「大阪大学の歴史」で「歴史を学ぶ、歴史に学ぶ」講義。

・7月29日　第5回アーカイブズ運営委員会を開催。

・7月30日　大阪大学混声合唱団OB会から資料受贈。

・8月1日　総務企画部総務課文書管理室に阪田久美子主任が着任。

・8月3日　全学共通教育「大阪大学の歴史」補足と試験。

・8月4日　国立科学博物館・有賀暢迪氏が視察。

・8月18日　名誉教授インタビュー(岸本忠三名誉教授)第1回収録。

・8月24日　NHKエデュケーショナルから医学部附属病院看護部旧蔵写真について照会。

大阪大学アーカイブズ兼任教員一覧

平成27年5月1日現在

法人文書資料部門

高橋　明男	法学研究科	教　授
瀧口　　剛	法学研究科	教　授
三阪　佳弘	高等司法研究科	教　授
田中　和夫	工学研究科	教　授
中村　征樹	全学教育推進機構	准教授
阿部　浩和	サイバーメディアセンター	教　授

大学史資料部門

竹中　　亨	文学研究科	教　授
田口宏二朗	文学研究科	准教授
澤井　　実	経済学研究科	教　授
廣田　　誠	経済学研究科	教　授
進藤　修一	言語文化研究科	教　授
松永　和浩	適塾記念センター	准教授

大阪大学アーカイブズ利用案内

・開室日
次に掲げる日を除く毎日
(1) 日曜日及び土曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日

(3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日

・利用時間
午前9時30分～午後4時30分

・利用請求の受付
午前9時30分～正午、午後1時～午後4時

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室　　長　　飯塚　一幸
（文学研究科教授）
教　　授　　菅　　真城

〈事務担当〉
大阪大学総務企画部総務課文書管理室

室　　長　　松本　光弘
（総務企画部総務課長）
室長補佐　　平野　雅宏
主　　任　　阪田　久美子
事務補佐員　川口　由美子
石崎　光穂

大阪大学アーカイブズニューズレター　第6号
発行日　2015年9月30日
編集発行　大阪大学アーカイブズ
〒562-8558
大阪府箕面市粟生間谷東８－１－１
Tel.（072）730-5113
Fax.（072）730-5114
E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room